

# 日本人の行動「TASK」 < 「Tachiba (立場)」、Aisatsu (挨拶)、Seii (誠意)、Kejime (けじめ)」 >

“The Mekikies Business”ニュース編集長(目利きエディタ)の印牧直文は、シリコンバレー駐在の年季を終えた1994年ごろ、日本の仕事社会環境に再適合するために日本人の行動形態について徹底研究しています。研究素材は、シリコンバレーにある日本系ビデオショップから借りたTVドラマ「渡る世間は鬼ばかり(渡鬼)」の50巻以上のビデオ・テープです。このドラマの中で、家族関係のトラブルが発生する際によく使われる単語とそのトラブルを解決させる際によく使われる単語について単語の発生頻度分布をとり、この中から日本の仕事社会環境で効果的な単語を抽出しました。その結果、「TASK」という言葉と行動概念が生まれました。この言葉の行動概念は「Tachiba(立場)、Aisatsu(挨拶)、Seii(誠意)、Kejime(けじめ)」であり、日本では議論や行動について局面を変えたい場合は、この4つの言葉を活用するかまたは組み合わせると、日本人を納得させ易い状況を作れます。

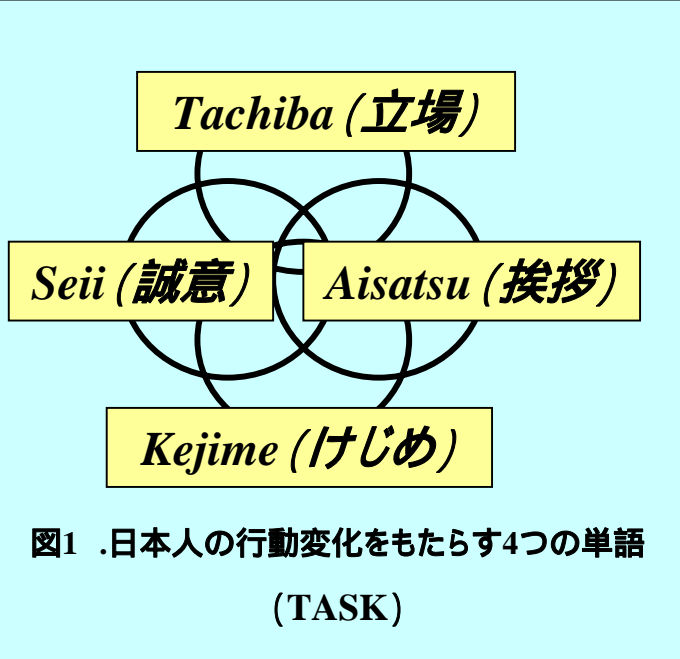


図1 .日本人の行動変化をもたらす4つの単語  
 (TASK)

この「TASK」に関連するニュース記事をここでご紹介させていただきます。  
 (社)電気通信事業者協会発行のTCA協会ニュース4月号の巻頭言「TaskとMad」の記事です。執筆者は同協会副会長であり、宇宙通信株社長である安念彌行氏であります。  
 同氏は、シリコンバレーのコア地域で活躍されていた米国三菱商事株(株)・パロアルト事務所長時代から、語学力に長けているとともに米国ビジネス文化に精通されている、日本人には珍しい実戦指向の実力者の一人とされています。同巻頭言では「MAD」という言葉が示され、「Majimeni(まじめに)、Akaruku(明るく)、Dogitsuku(どぎつく)」という行動形態について経験を踏まえ述べられています。更に、日本人の「嫉妬」という行動にも一歩踏み込んで言及されており、米国駐在を経験した者の一人としてリアル感が増します。この言葉を「ブル嫉妬」= Bullshit と掛け合わせてバイリンガル駄洒落をしている点に敬服します。  
 同巻頭言「TaskとMad」の記事について一読されることをお勧めします。  
 (記事概要) 題名:巻頭言「TaskとMad」  
 執筆者:社団法人電気通信事業者協会 副会長 安念彌行  
 (宇宙通信株式会社 代表取締役社長)  
 出典:「TCA協会ニュース 04, 2007」(2007年4月号)1頁  
 発行:社団法人 電気通信事業者協会(TCA:Telecommunications Carriers Association)

(参考)メキキズ・ビジネスニュースの「最近のお知らせ」 平成19年4月16日:更新